

平成20年度 鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

上田電鉄安全報告書

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。

1. 利用者はじめ地元の皆様へ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有り難うございます。当社では、お客様に安心してご利用いただけるよう、日頃から安全を最優先して取り組んでおります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

上田電鉄株式会社

代表取締役社長 角田 朗一

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。
- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

当社別所線では、過去5年間の鉄道運転事故は、衝突・脱線・火災についてはありませんでしたが、平成19年度は踏切障害事故が1件、保安装置故障（列車妨害）1件、インシデント（施設障害）1件発生し、遅延や運休によりお客様にご迷惑をおかけいたしました。

当社における鉄道輸送安全目標

鉄道輸送安全目標は次のとおりです（平成18～22年度の5か年計画）

列車事故 （衝突・脱線・火災）	乗客の死亡を伴う事故を5年間発生させない
人身障害事故	5年間発生させない
踏切障害事故	5年間の発生件数を5件以下とする

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

（1） 鉄道運転事故

平成19年度は、踏切障害事故及び保安装置故障（列車妨害）が2件発生し、お客様にご迷惑をおかけいたしました。

①市道2号踏切（上田～城下駅間）において下り列車が速度約40km/hでだ行中、同踏切約40m手前で左方より猛スピードで走行してくる車を発見、気笛吹鳴とともに非常制動の手配を執りましたが間に合わず衝突し、このため31本の運休となりました。乗用車の直前の横断が原因であったためであり、安全運行について皆様のご協力をお願いいたします。

②神畑踏切（神畑～大学前駅間）において、同踏切が下がったままだと連絡があり調査したところ、線路継ぎ目にパチンコ玉が挟まっていたことが原因でした。このため5本の運休となりました、悪戯による列車妨害として処理し、警察に付近巡回強化を依頼いたしました。

（2） 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成19年度は、災害による列車支障等はありませんでした。

（3） 鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態

八丁踏切（塩田町～中塩田駅間）において、当該踏切を電車が通過する直前に遮断かんが上昇するといった誤作動が発生いたしました。幸い事故等には及びませんでしたが、原因を究明し改善をいたしました。

原因は、隣接する踏切の制御に使われている回路が同じ周波数のため、防止措置が取られていたにもかかわらず当該踏切を干渉した為で、当社としては抜本的対策として回路の周波数を変更し、安全を確保いたしました。さらに、別所線全線においても同事象が生じないように確認をいたしております。この事象について国土交通省へインシデント（施設障害）として届出いたしました。

（4） 行政指導等

平成19年度は、国土交通省より行政指導等はございませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

（1） 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策を定めて取り組んでいます。達成するためには、多くの費用が必要なことから、20年度以降も継続して着実な進捗に努めてまいります。

安全目標項目	重点安全施策の内容	達成度
列車事故の予防	A T Sの整備	整備済
安全対策事業	重軌条化	20年度以降も継続実施する
	コンクリート枕木化	20年度以降も継続実施する
	道床交換	
踏切障害事故の予防	保安設備の更新	20年度以降も継続実施する
災害の防止	風速計の設置	19年度に実施済
その他	車両の更新	19年度2編成更新済 20年度2編成更新する

(2) 人材教育

- ・新規業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施しています。
- ・電車を運転するには、自動車と同様に「運転免許」が必要です。平成19年度は、取得者はおりませんでした。今後も養成を図ります。

(3) 異常時の訓練

踏切事故を想定し、6月19日、20日に異常時運転訓練を実施、また、信号故障を想定し、12月18日、19日に指導通信式の訓練を実施いたしました。

(4) 安全のための設備投資

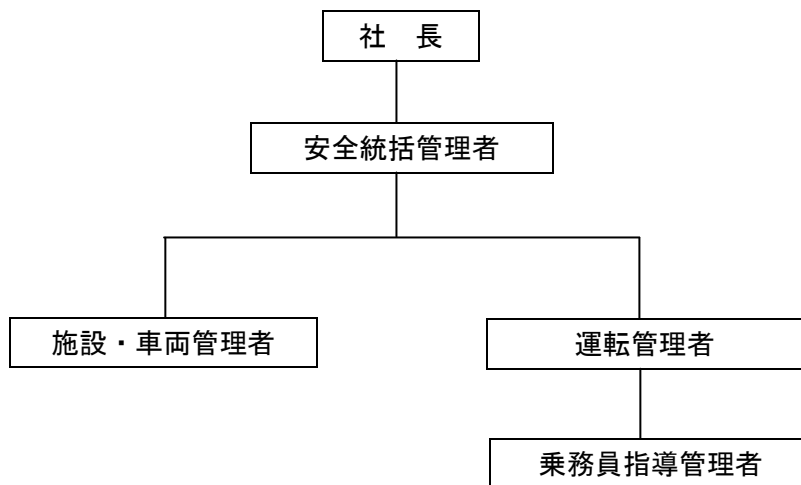
「安全の確保は、輸送の生命である」との認識に立って安全のための投資を実施しております。

単位：千円

	19年度実績	20年度計画
安全投資	185,370	153,892
その他投資	5,320	14,900
設備投資額合計	190,690	168,792

5. 当社の安全管理体制

社長	社長は、輸送の安全に関する業務を統括する
常務取締役 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運輸部長 (運転管理者)	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
技術区長 (施設・車両管理者)	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
駅務区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



安全確保について一層の強化を図るため毎月全員参加の「業務研究会」を開催し、その意見は管理者へ具体的に反映させてまいります。

6. ご連絡先

ご意見やご感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117

■ 月～金 8:45～17:45 (土日祝日及びお盆、年末年始は除く)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp